

第75回ふじみ衛生組合地元協議会会議録（要旨）

- 第1 開催日時 令和5年1月16日（月）午後6時30分～午後8時02分
- 第2 開催場所 クリーンプラザふじみ3階研修ホール（オンライン形式を併用）
- 第3 出席委員 出席22人（欠席4人）
- [集合参加]
- 佐々木善信（会長）、浅野秀美、海老沢行子、加藤栄作、北村柳介、
小松日出雄、田中一枝、角田真宏、増田雅則、矢田部正文、山内一昌、
山田知英美
- 荻原正樹（副会長）、河西保人、川鍋章人、外山慶範、田波利明、
山賀則夫
- [オンライン参加]
- 小林義明（副会長）、蔵貫隆子、佐藤翔一、宍戸良雄
- ※ 名前の表示は、正副委員長を除き、選出区分別50音順
- 事務局 加藤孝一、加藤弘道、脇山浩明、伊東達也、岩崎誠、倉林真理子、
高橋悠紀、竹内弘子
- 第4 会議の公開 公開
- 第5 傍聴人の数 2人
- 第6 次第
- 1 開会
 - 2 前回会議録の確認等
 - (1) タイムスケジュールの確認
 - (2) 第74回ふじみ衛生組合地元協議会会議録（要旨）について
 - 3 協議事項
 - (1) 令和5年度施設見学会（案）について
 - 4 報告事項
 - (1) リサイクルセンター更新スケジュールの変更について
 - (2) 施設の運転結果について
 - ア ごみ処理実績（令和4年4月～11月）について
 - イ 環境測定結果（令和4年4月～11月）について
 - (3) 第10回ふじみまつり～三調めのエントツくんまつり～の報告について
 - (4) 100m煙突登りチャレンジの報告について
 - 5 その他
 - (1) ふじみ衛生組合地元協議会選出区域について
 - (2) 次回日程について
 - 6 閉会

配布資料

- 【資料1】 ふじみ衛生組合地元協議会委員名簿〔7期〕
- 【資料2】 第75回ふじみ衛生組合地元協議会タイムスケジュール
- 【資料3】 第74回ふじみ衛生組合地元協議会会議録（要旨）
- 【資料4】 令和5年度施設見学会（案）について
- 【資料5】 令和4～5年度リサイクルセンター更新に係るスケジュール
- 【資料6－1】 ごみ処理実績（令和4年4月～11月）
- 【資料6－2】 環境測定結果（令和4年4月～11月）
- 【資料7】 第10回ふじみまつり～三調めのエントツくんまつり～の報告
- 【資料8】 100m煙突登りにチャレンジの報告について
- 【資料9】 令和4年度ふじみ衛生組合地元協議会・安全衛生専門委員会
スケジュール
- 【資料10】 ふじみ衛生組合地元協議会自治会区域図

1 開会

【事務局】

それでは、定刻となりましたので進めさせていただきます。

委員の皆様にはお忙しい中、地元協議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。今回、第75回ふじみ衛生組合地元協議会も、集合形式とオンライン形式を併用し開催いたしますので、よろしく申し上げます。

次に、事務局から資料の確認をさせていただきます。事前送付しました、表紙が第75回ふじみ衛生組合地元協議会次第にホチキス留めでつづられている資料となります。それから、こちらの資料の37ページ～38ページに数値の修正がありますので、本日、差し替え資料として机上配付しております。オンラインの方はこの資料は差し替え済みとなっております。また、当日資料として、資料7「第10回ふじみまつり～三調めのエントツくんまつり～の報告」、資料10「ふじみ衛生組合地元協議会自治会区域図」を配付しています。このほか、会場にいらっしゃっている委員については、席次表と地元協議会に関連した要綱、要領、協定書などをまとめた青いバインダーを机上配付しています。こちらのバインダーは、会議終了後回収させていただきます。

委員の皆様、資料はおそろいでしょうか。

それでは、会議に入らせていただきます。ここからは会長に進行をお願いいたします。

【会長】

委員の皆様、こんばんは。本日もお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。

会議を進めるに当たり、私から委員の皆様と事務局にお伝えします。1つ目は、発言を希望される委員の方は手を挙げていただき、私が指名してから発言するようにお願いします。次に、本日は限られた時間の中で会議を進めたいことから、事務局は説明を簡潔に、委員は質問、意見を簡潔にするようにお願いします。

それでは、本日の委員の出席状況について事務局より報告してください。

【事務局】

オンラインの会議出席者は3人、会場へお集まりいただいた出席者は、ふじみ衛生組合行政委員も含めまして18人、合計21人となっております。全委員は26人であり、半数以上が出席されています（後に委員1人がオンライン参加）。

ふじみ衛生組合地元協議会設置要綱第7条第2項に基づき、会議は有効に成立していることを報告します。

【会長】

ありがとうございます。

次に、次第をご覧ください。本日の案件は、3番の協議事項が1件、4番の報告事項が4件となっております。各案件について、「ふじみ衛生組合地元協議会の傍聴等に関する取扱要領」に基づき、本日の会議を公開とし、傍聴を承認したいと思います。委員の皆様、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

【会長】

ありがとうございます。異議なしと認め、本日の会議を公開とし、傍聴を承認します。

本日の傍聴希望者につきましては、事務局から報告をお願いします。

【事務局】

本日は、オンラインでの傍聴希望者が1人、会場での傍聴希望者が1人おります。

以上です。

【会長】

分かりました。

それでは、「ふじみ衛生組合地元協議会の傍聴等に関する取扱要領」に基づいて、傍聴人の方に入室していただきます。お願いします。

（傍聴人入室）

2 前回会議録の確認等

（1）タイムスケジュールの確認

【会長】

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。

初めに、タイムスケジュールの確認です。冊子資料の5ページ、資料2「第75回ふじみ衛生組合地元協議会タイムスケジュール」をご覧ください。会議の進行のため作成しています。このタイムスケジュールに基づき、閉会の時間は19時55分とさせていただきます。委員の皆さん、会議の進行にどうぞご協力をお願いいたします。

(2) 第74回ふじみ衛生組合地元協議会会議録（要旨）について

【会 長】

次に、「第74回ふじみ衛生組合地元協議会会議録（要旨）」についてです。前回11月16日（水）開催の第74回ふじみ衛生組合地元協議会の会議録について諮りたいと思います。お手元の資料の7ページから29ページまでとなります。会議録の内容についてご指摘などありますでしょうか。ある方は挙手をお願いいたします。

（挙手なし）

特にないようですので、「第74回ふじみ衛生組合地元協議会会議録（要旨）」を承認することとします。事務局で公開の手続きを進めてください。

3 協議事項

(1) 令和5年度施設見学会（案）について

【会 長】

それでは、次第の3協議事項に移ります。「令和5年度施設見学会（案）」について、事務局から説明をお願いします。

【事 務 局】

資料の4、31ページ「令和5年度施設見学会（案）」をお願いします。

昨年は、7月に日野市クリーンセンター、石田環境プラザ、浅川清流環境組合の施設見学を実施しました。令和5年度の視察場所は、本日2案をお示ししますので、行き先を協議していただき、この場で決定していただければ、その後、見学先の予約手続をさせていただきたいと思っております。

また、実施時期は6月12日の週、19日の週の平日のどこかでと考えております。

本日は候補日を絞らせていただき、候補日の中で視察場所と日程調整をしていきたいと考えております。

では、視察場所の説明をさせていただきます。

第1案は「町田市バイオエネルギーセンター」です。資料は町田市のホームページ等から作成したものです。

1点修正がございます。3番の敷地面積ですが、77,00平方メートルとなっておりますが、正しくは77,000平方メートルが正しいので、ゼロを1つ付け加えてください。恐れ入ります。

所在地は東京都町田市下小山田町で、ふじみ衛生組合から約23キロメートル、車で約1時間程度の場所にあります。こちらは町田市の可燃ごみと不燃ごみを受け入れている施設です。町田市バイオエネルギーセンターの処理人口は約43万人、ふじみ衛生組合の処理人口も約43万人となっております。

ふじみ衛生組合になく、町田市バイオエネルギーセンターにある施設は、バイオガス化施設です。乾式高温メタン発酵ができるということです。また、剪定した枝を資源化する施設もあるということです。不燃ごみ、粗大ごみ処理施設は最新の機械が入っていますが、手選別は行っているということです。

次に、32ページ「遠東石塚グリーンペット株式会社」です。こちらの施設は、ふじみ衛生組合に集められたペットボトルの今年度の受入先となっております。ペットボトルの受入先は半年ごとに変わりますが、今年度は1年を通じてこちらの施設となっております。右下の図のとおり、回収された使用済みのペットボトルをレジン・フレーク化してペットボトルにリサイクルする施設で、ペットボトルをペットボトルにする最新の施設です。

なお、現地までは約78キロメートル、高速道路を使用して約1時間半、休憩時間や混雑も加味すると2時間程度かかるかと思えます。

33ページ、34ページには、ふじみ衛生組合のクリーンプラザふじみとリサイクルセンターの資料を参考として添付しています。

なお、参加者の声かけの範囲については、次回3月の地元協議会において協議させていただければと思えます。

説明は以上です。

【会 長】

ありがとうございました。ただいま事務局より、町田市バイオエネルギーセンターと遠東石塚グリーンペット株式会社の案が出されました。どちらの施設がよいか、今、提示された項目等をご覧いただいて決めていきたいと思っておりますので、ご意見、ご質問など、この場で挙手をお願いします。

【A 委 員】

前からペットボトルのリサイクル施設を一度見たいと思っていました。こちらの施設はペットボトルを粉砕して、またペットボトルを作るという工程だけなのでしょうか。例えば繊維やいろいろな用途のための粉砕工程はあるのでしょうか。

【会 長】

事務局、お願いします。

【事 務 局】

遠東石塚グリーンペット株式会社でございますが、こちらはペットボトルを粉砕いたしまして、またペットボトルに加工するという施設でございます。例えば洋服や着る物にしているとか、そういった施設ではございません。あくまでもペットボトルからペットボトルを作る施設でございます。

【会 長】

よろしいですか。

【A 委 員】

はい。

【会 長】

ほかの方、ご質問ございませんか。

B委員、お願いします。

【B 委 員】

ボトル・ツー・ボトルは、いろいろなやり方があると思うのですが、こちらの施設の特徴、端的に言うと、何か見どころというのはありますか。

【事 務 局】

ペットボトルのリサイクルですけれども、今までは粉砕した後、なかなかよい素材のものにリサイクルすることができず、最近、ようやくペットボトルからペットボトルを作れるようになったということでございまして、ペットボトル

からペットボトルを作ることができれば、循環リサイクルできますので、そういう面では最新の施設ということが言えると思います。

日本では、全体のペットボトルのうち、ペットボトルに生まれ変わっているのは2割程度と言われていまして、残りの8割は例えば繊維状にして外国に輸出するなどの形でのリサイクルが多いと聞いております。

【会 長】

B委員、よろしいですか。

【B 委 員】

はい。

【会 長】

最近、コンビニに設置されたペットボトル回収ボックスを見かけた方もいると思いますが、あるコンビニは、5本持参につき1ポイントが付与されるそうで、お店もしくはメーカーがペットボトルに価値を見出し、それを新たな回収方法で回し始めた。そういう中、私の想像の域を越えないのですが、ペットボトルをぐるぐる回せる高い技術を持つ民間の施設なのだと思います。

今までの施設見学は、私たちと同じような自治体の最新設備を何か所か見てきましたけれども、今回初めて民間企業の最先端技術を見てみたいという提案の下、1つの案として事務局に出していただいたという流れでございます。

C委員、どうぞ。

【C 委 員】

全く新たな観点で、相模原市だったかと思いますが、三菱マテリアルと連携して焼却灰の中からレアメタルを抽出、資源化し、市の収入にしていこうとする動きがあるとの新聞記事を読みました。そういった新しい取組といたしますか、先進的な取組も少し見てみたいと思うですけれども、その辺のご研究はされていらっしゃいますか。

【事 務 局】

事務局としても相模原市の取組等は知っております。ただ、相模原市のほうはあくまでも民間施設に出すだけですので、相模原市の焼却施設に行ったから何か見られるかという、そうではございません。もし、その先を見たいのであれば三菱マテリアルまで行かなければならないということになりますので、日帰

りでは行程的に難しいと考えております。今後も新しい情報を収集し、皆様に提供できるよう努めてまいりたいと考えております。

【会 長】

C委員、どうぞ。

【C 委 員】

一応、回答はいただきましたけれど、相模原市の人と意見を交換するだけでも随分違うと思います。今、レアメタルは、世界的には取り合いの状況になっていて、中国が独り勝ちしているわけです。日本の都市鉱山と言われているごみの中にこそレアメタルが山ほどあるので、仮に三菱マテリアルが行うにしても、これは全国的に非常に珍しい取組だと思うので、流れだけでも知ることは、国民経済にとっても非常に大事なことではないかと私は思います。今回は無理でも次回検討するなど、いかがですか。

【会 長】

事務局、お願いします。

【事 務 局】

事務局としては、皆様のご同意が得られれば、日帰りできますので、第3案として入れていただいても構わないと考えております。皆様でその辺についてご検討いただければと思います。

【会 長】

オリンピック前に確かに小型家電を回収して、メダルを作ろうということをやりましたが、私の所属している自治会では、それを今でも続けています。集まる量は微々たるものですが、うちは集合住宅なので、毎月1回の掃除のときに持ってきてもらい、少しずつ溜まって、数か月でコンテナボックスいっぱいになります。集める対象品目も、例えばケーブル類やノートパソコンなどかなり広い範囲で回収しています。その後、どの程度結果が出たのかは、知り得ないのですが、やることには意味があると思ってやっております。

今、事務局からも第3案に入れるのは構わないというご提案もありましたので、もし、可能とするならば、第3案に入れてもよいのではないかと思います。確かに今までの施設見学の流れを、今回は新しい視点で見るというところから出た発想で、遠東石塚グリーンペットという話になりました。片道2時間超かか

り、半日で往復するのは無理というところが難点ですが、海洋プラスチックをはじめ、プラスチックは非常に厄介な存在であり、その中で我々が最新のところを知ることも必要であるということから第2案として入れていただきましたが、第3案として、ご提案があった貴重な金属の回収等に資する施設を見学なり、話を聞くような機会を設けるということもあっていいのではないかと思います。

ご意見やご指摘などありましたら、お願いします。

(意見なし)

特に反対のご意見がないということであれば、どのように実現できるかというところはありますけれども、第3案に相模原市のほうも含め、もし無理であれば、第3案は次回に重要な案件として入れることも考えながら、意見をまとめたと思います。どなたがご発言ございませんでしょうか。

D副会長、お願いします。

【D副会長】

今回は2案を出していただいているので、第2案のペットボトルでよいと思います。それで、相模原市の話は、次回に検討すればよい話ではないかなと思います。

以上です。

【会長】

ありがとうございます。それでは、何らかの決を採りたいと思いますので、第1案、第2案、第3案を候補ということでお話を伺いたいと思います。

【C委員】

第3案は、何も無いのに決を採るのはおかしいです。

【会長】

それでは、相模原市のほうは、次回の有力候補ということにしておきましょうか。わかりました。

それでは、第1案の町田市バイオエネルギーセンターがよいという方は挙手をお願いいたします。

(賛成者挙手)

【会長】

続いて、第2案、石塚グリーンペット(株)がよいという方は、挙手をお願い

いたします。

(賛成者挙手)

【会 長】

ありがとうございました。

それでは、遠東石塚グリーンペット(株)のほうが良いという意見が多くありましたので遠東石塚グリーンペット(株)を見学先にしたいと思います。皆さん、よろしくお願いいたします。

また、6月12日(月)の週、6月19日(月)の週の平日の中で、都合の悪い日がある方は申し出ていただけますか。都合の悪い方が多い日は外し、残った日うちの中で、事務局が相手方と日程調整をするようにします。

それでは、6月12日の週が良いという方は挙手をお願いします。

まだ、具体的な日にちが決まっていないので、手を挙げづらいと思いますが、相手方もあるので、まず、週を決めて、あとは事務局に依頼するので、その辺はご容赦いただきたいと思います。

(賛成者挙手)

【事 務 局】

どちらの週でもよい場合は、どちらもお願いします。

【会 長】

6月19日の週のほうがよいと思われる方。

(賛成者挙手)

【会 長】

ありがとうございます。

そういたしますと、12日の週のほうがよいという方が多かったので、12日の週で相手方と日程調整を図っていただき、具体的な日程はそれから決まるということになりますので、皆さん、ご承知おきをお願いいたします。

では、事務局よろしくお願いいたします。

次に進みます。

4 報告事項

(1) リサイクルセンター更新スケジュールの変更について

次第4、報告事項に移ります。(1) リサイクルセンター更新のスケジュール変更について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】

それでは、ふじみ衛生組合リサイクルセンター更新に係る令和4年度から5年度のスケジュールの変更につきまして、ご報告をさせていただきます。

35ページ、資料の5をご覧ください。こちらは令和4年度及び令和5年度のふじみ衛生組合リサイクルセンター更新に関するスケジュールをお示したものです。上段の表は、施設整備実施計画の作業スケジュール、下段の表が事業者選定に関する審議会の開催スケジュールでございます。それぞれ赤字で変更後と書いてある部分が現時点での最新のスケジュールとなります。当初の予定では、12月1日の審議会において事業方式を決定し、今回の地元協議会で実施計画(案)について協議をいただき、3月にパブリックコメント及び市民説明会を開催することとしておりました。しかしながら、12月1日の審議会において事業方式が決まらなかったことから、次回、3月6日に開催される審議会において、再度事業方式について検討することとなりました。したがって、下段の事業者選定変更後のスケジュールのとおり、3月6日の審議会開催後、地元協議会を開催し、実施計画(案)について協議をいただき、5月までに実施計画(案)を確定したいと考えております。

これに伴いまして、実施計画につきましては、上段の施設整備実施計画変更後のスケジュールのとおり、地元協議会において適宜協議を行いながら、6月にはパブリックコメント及び市民説明会を開催し、8月までには策定したいと考えております。

なお、今回のスケジュール変更に伴う新しいリサイクルセンターの竣工、稼働の時期に大きな影響はないと考えておりますが、引き続き、地元協議会の皆様には情報提供をさせていただくとともに、協議をお願いしたいと考えております。

また、繰り返しになりますが、次回の審議会は3月6日(月)、6時半から、クリーンプラザふじみ3階研修ホール、こちらの部屋で開催されますので、よろしくお願いいたします。

私からの説明は以上でございます。

【会長】

事務局の説明は終わりました。リサイクルセンター更新スケジュールの変更について、ご意見、ご質問などある方は挙手をお願いいたします。

C委員、どうぞ。

【C 委 員】

P F I の導入は、どういう議論があつて決まらなかったのでしょうか。あるいは、どういうところに問題点があったのでしょうか。簡単に教えていただけますか。

【会 長】

事務局、お願いします。

【事 務 局】

第1回目の審議会では、各事業方式について事務局で説明を行ったところですが、何点か委員のほうから資料修正を含めてご意見をいただいたところでございます。

まず1点目といたしまして、DBOとP F Iの資金調達コストは、民間の金融機関から資金を調達するP F Iのほうがかかるのではないかなというご意見をいただきました。その点を含めて、また3月に継続して話をしましょうということになりました。

また、S P Cの設置、特別目的会社ですけれども、S P Cの設置についてどうするのかというようなお話もございましたので、これについてはS P Cの設置そのものについて審議会の委員の皆様のご意見を伺いながら、今後検討してまいりたいというようにお話をさせていただいております。

このように、幾つか当日、そのまま時間切れになってしまった部分がございますので、引き続き3月6日の事業者選定審議会では事業方針についてご議論をいただいて、できましたら3月の事業者選定審議会において事業方式を絞り込みたいと考えているところでございます。

以上でございます。

【会 長】

C委員、よろしいですか。

【C 委 員】

余計な心配かもしれませんが、今のお話を聞いていると、スケジュールが相当

厳しいのではないかと思います。SPCが決まらないとか、資金コストの軽重についてまだ議論が決まらないとなると、このスケジュールは、相当タイトだと思いますけれども、大丈夫でしょうか。

【会長】

事務局、お願いします。

【事務局】

現時点では、令和6年度中に事業者を選定するというスケジュールで進めておりますが、万が一、事業者が決まらないということになった場合には、竣工までの全体のスケジュールの見直しも必要になってくると思います。その辺につきましても、また地元協議会の皆様にも適宜お話をさせていただきたいと考えているところでございます。

【会長】

ほかに、ご意見ある方ございませんでしょうか。

私から、1点確認です。この審議会は第2回まで傍聴できたと思いますが、1回目の傍聴人の数を一応報告してください。

【事務局】

第1回目については、3名の方に傍聴していただきました。

また、3月6日（月）18時30分からの事業者選定審議会も公開でございますので、傍聴が可能です。

以上です。

【会長】

それでは、まだ公開範囲だということもありますので、皆さん、ご承知おきください。

D副会長、どうぞ。

【D副会長】

傍聴ですが、2回目はオンラインでの傍聴はできませんか。

【会長】

事務局、説明をお願いします。

【事務局】

こちらの審議会につきましては、1回目もそうでしたが、オンラインによる傍

聴はできないということをごさいますて、もし、ご希望ということでしたら、審議会のほうに諮らなければなりません。今回は間に合いませんので、第3回以降ということになると思います。よろしくお願いいたします。

【会 長】

D副会長、時間的に間に合わないという回答です。

【D副会長】

分かりました。

【会 長】

その他、今の項目に関して質問ございませんか。なければ次に進みたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(2) 施設の運転結果について

【会 長】

それでは、報告事項の(2)施設の運転結果について、事務局より一括した説明をお願いします。

ア ごみ処理実績(令和4年4月～11月)について

【事務局】

令和4年4月から令和4年11月末までのごみ処理実績につきましてご報告させていただきます。

資料は37ページからとなりますが、まず初めに、先にお送りさせていただいた資料に一部誤りがございましたので、差し替え用の資料として別紙をご用意させていただきましたので、こちらに差し替えをお願いいたします。

別紙は37ページ、資料6-1、さらにその右上に差し替えとあるものになります。よろしくお願いいたします。大変申し訳ございませんでした。

それでは、内容に入らせていただきます。

こちらはクリーンプラザふじみの処理実績速報値でございます。重量につきましては、小数点以下を四捨五入してご報告させていただきますので、ご了承をお願いいたします。

まず、37ページ、上段部分のグラフとその下の表ですが、こちらは令和4年4

月から11月までのクリーンプラザふじみへの搬入量を示したものでございます。この期間における可燃ごみの搬出量の合計は5万756トンで、前年度の5万3,135トンに比べて4.5%の減となりました。その内訳といたしましては、三鷹市が1万9,748トンで3.9%の減、調布市が2万4,545トンで1.2%の減、リサイクルセンターから出る可燃性残渣が4,540トンで6.5%の減、その他といたしまして、広域支援による小平市の可燃ごみが1,924トンで33.5%の減となりました。

また、市民1人1日当たりの可燃ごみは、三鷹市分が425グラムで3.6%の減、調布市が422グラムで1.3%の減となっております。

次に、下のグラフと表をご覧ください。焼却処理後の灰の搬出量です。焼却灰、飛灰、鉄分の合計は5,557トンで、前年度の5,981トンに比べて7.1%の減となりました。

続きまして、38ページをお願いいたします。こちらは、可燃ごみの焼却量及び焼却に伴う発電量と送電量を月別にお示ししたものです。6月は、焼却炉をはじめとする設備の定期点検のため、焼却量、発電量は少なくなっており、前年度と同じ傾向を示しております。

4月から11月末までの焼却量の合計は5万1,095トンで、前年度の5万2,513トンに比べて2.7%の減、発電量の合計は2万7,881MWhで4.2%の減、表の右側、送電量の合計は2万513MWhで前年度に比べて6.2%の減となりました。その内訳といたしましては、リサイクルセンターが643MWh、三鷹市防災公園が2,090MWh、電力事業者が1万7,780MWhでございます。

続きまして、39ページをお願いいたします。こちらはリサイクルセンターの処理実績速報値でございます。上段のグラフと表、搬入量をご覧ください。搬入量の合計は1万1,598トンで、前年度と比較して6.3%の減となりました。内訳といたしましては、三鷹市が5,800トンで6.9%の減、調布市が5,798トンで5.6%の減となっております。

市民1人1日当たりの排出量は、三鷹市分が125グラムで、前年度に比べて6.7%の減、調布市分が100グラムで5.7%の減となっております。

次にページを1枚おめくりいただいた40ページ～41ページは品目別の搬入量でございます。それぞれ、粗大ごみ、不燃ごみ、プラスチック、ペットボトル、びん・缶の搬入実績と、市民1人1日当たりの排出量となります。

まず、粗大ごみですが、三鷹市の粗大ごみ搬入量が前年同期に比べて23.7%減少いたしました。こちらの要因につきましては、第73回地元協議会にてご説明申し上げましたとおり、三鷹市の粗大ごみの料金計算が、令和3年10月1日に従前のポイント合算制から品目別料金制に変更になったことが影響し、制度変更前に申込件数が一時的に増えたことに対して、以降は申込みが落ち着いたことが原因ではないかということでございます。

次に、不燃ごみ、プラスチックです。新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は著しい増加傾向を示しておりましたが、現在は搬出量も落ち着きつつあり、平年並みの処理体制で対応可能な状況でございます。

続きまして、41ページになります。ペットボトルにつきましては、平成28年度以降増加傾向が長く続いております。本年度は、前年度同期に比べて0.7%の減となっております高止まりの状態です。

その下のびん・缶ですが、令和3年度以降は減少傾向であり、5.8%の減となりました。

次に、搬出量の実績でございます。資料39ページにお戻りいただきまして、下の搬出量のグラフと表をご覧ください。

搬出量の合計は1万1,113トンで、前年度の1万1,967トンに比べて7.1%の減となりました。その内訳といたしましては、アルミ、鉄など有価で売却している金属類の合計が1,389トンで14.5%の減、無償で引渡しをしている容器包装リサイクル法の対象品目やリチウムイオンバッテリーなどの二次電池の合計が4,774トンで5.8%の減、廃乾電池や小型家電など、適正処理に係る費用を負担している、いわゆる逆有償の品目の合計が411トンで2.2%の減、リサイクルセンターからクリーンプラザふじみに搬出している可燃性残渣が4,540トンで6.5%の減でございます。いずれも搬入量の減少に伴うものです。

令和4年4月から令和4年11月末までのごみ処理実績につきましては以上となります。

私からは以上です。

イ 環境測定結果（令和4年4月～11月）について

【事務局】

続きまして、イの環境測定結果について説明させていただきます。お手元の資料42ページ～43ページの資料6－2「令和4年度環境測定結果」をお開きください。

前回の地元協議会では、8月～9月分についてご説明いたしましたので、本日は10月及び11月分についてご説明させていただきます。

令和4年度の10月～11月の休炉等の状況につきましては、2号炉について、点検整備のため10月1日に立下げを行い、10月15日に立上げを行い、年次点検のため11月10日に再び立下げを行いました。

次にその下の段、排ガス測定の結果をご覧ください。排ガス測定は11月に実施し、ばいじん、硫黄酸化物、塩化水素、窒素酸化物、鉛、カドミウム、亜鉛、水銀、一酸化炭素、ダイオキシン類とも全て自主規制値、基準値以下でございました。

次にその下の段、騒音、振動、臭気、排水の測定結果と、さらにその下の段、周辺大気の測定結果についてですが、10月と11月については測定はございました。

次に、一番下の段、放射能に関する測定でございます。測定は毎月実施し、焼却灰、飛灰、排ガス、排水においては不検出又は基準値以下、空間放射線量率についても全て基準値以下でございました。

私からの説明は以上でございます。

【会長】

事務局の説明が終わりました。

それでは、ごみ処理実績及び環境測定結果について、ご意見、ご質問ある方は挙手をお願いします。

【E 委員】

以前に、事業系プラスチックがオーバーフローするという話がありまして、その対策として在庫量を倍にしてもよいというようなお話が1つと、この場合は幸いになりますが、コロナが起こったため、事業系のプラスチックが家庭用に流れて、それが我々のこういうところに来たわけで、バランスが取れたように聞いております。今、お聞きしますと、また事業系プラスチックが増えていると思いますが、現在、事業系プラスチックの在庫問題というのはどうなっているのかお

知らせいただきたい。

【会 長】

それでは、事務局、お願いします。

【事 務 局】

E委員がおっしゃるとおり、確かに事業活動は大分回復してきておりますが、今現在、産業廃棄物処理場におけるプラスチックの在庫積み増しはほとんど起きてないということで処理能力の範囲内で収まっていると聞いておりますが、また、今後さらに事業活動が本格的に回復いたしますと同じような問題が起こるかもしれません。その辺の情報につきましては適宜地元協議会にご報告させていただきたいと考えております。

【E 委 員】

分かりました。

【会 長】

C委員、お願いします。

【C 委 員】

この環境測定結果については、これはこれでよいと思いますけれども、時代の流れからいうと、SDGsに関わるCO₂の排出量とか、新しい観点で入れないといけないと思います。今までのような環境保護というところから一歩進んで、SDGsのようなCO₂の排出量をどう削減するかという取組が必要だと思うので、少なくとも今の数値は、つかんでおかないといけないと思います。それは、いかがですか。

【会 長】

事務局、お願いします。

【事 務 局】

ふじみ衛生組合から排出されるCO₂でございますが、その原因の約99%が廃棄物の焼却に伴うものでございまして、各年でばらつきはありますけれども、大体年間3万トン少々CO₂を排出しております。私どももできるだけCO₂を削減しなければならないということで地球温暖化対策実行計画を策定しているところでございますので、本日、CO₂についてもというお話がありましたので、次回以降の地元協議会に地球温暖化対策実行計画も含めましてお示しをしたい

と考えております。

以上でございます。

【会 長】

C委員、よろしいですか。

【C 委 員】

分かりました。

【会 長】

それでは、事務局、よろしくお願いいたします。

D副会長、お願いします。

【D 副 会 長】

先ほど、39ページから43ページ辺りの説明の音声聞こえないところがありました。F委員、G委員、いかがですか。

【会 長】

G委員、どうぞ。

【G 委 員】

はい、そうでした。

【F 委 員】

はい、そうです。

【事 務 局】

パソコン回線が一時切れてしまいまして、つなぎ直した関係で、オンラインの皆様、少し聞こえないところがあったかと思えます。申し訳ございません。

今は回復しています。

【会 長】

もう一回、要点だけ再演しましょう。

(「施設の運転結果について」を再演：省略)

(質疑及び回答を報告：省略)

【会 長】

ありがとうございます。

ここで元に戻ってきたということで、ほかにご意見、ご質問なければ次に進みたいと思いますが、いかがですか。

では、特にないということで次に進みたいと思います。

(3) 第10回ふじみまつり～三調めのエントツくんまつり～の報告について

【会 長】

次に、(3) 第10回ふじみまつり～三調めのエントツくんまつりの報告に移ります。

事務局より説明をお願いします。

【事 務 局】

それでは、第10回ふじみまつりについてご報告させていただきます。本日、机上配付いたしました資料7「第10回ふじみまつり（～三調めのエントツくんまつり～）の実績報告」をご覧ください。

11月20日（日）に開催した「ふじみまつり」ですが、今年度は10回目となる記念の開催でございました。令和2年度と令和3年度はコロナで開催を自粛しておりましたので、今年度は3年ぶりの開催となり、駅伝大会とも時期をずらしての開催で、さらに飲食を伴う模擬店の開催を見送ったこともあり、来場者数の減少を見込んでいたのですか、1の（1）に記載のとおり、来場者数は過去最高の3,619人となりました。これもひとえに、地元協議会からご参加いただいたふじみまつり実行委員の皆様と参加団体の皆様が、様々なところや会議等でふじみまつりをPRし、ご尽力していただいたおかげだと感謝しております。

1の（2）のとおり、協力団体数は地元協議会の皆様をはじめとする37団体で、事故も起きることなく大盛況のうちに終了することができました。

1の（3）のとおり、当日は10周年記念事業として、SDGs落語会、ごみ処理事業功労者表彰を開催いたしました。

また、1の（5）に記載のうち、今年度の新しい取組として、1つ目のふわふわトランポリン、3つ目のソーラーランタン作り、4つ目のボトルアクアリウム作り、そして、次のページの表の下から2つ目のバルーンアートなどを行いました。

また、H委員が所属されております三鷹市西部地区住民協議会におかれましても、今回初めてご参加いただいて「グラウンド・ゴルフ」の催物を行っていただきました。様々な催物が大盛況で、長蛇の列をなし、大変混雑した状況でござ

いましたが、事故もなく終えることができたのは、ここにいるふじみまつり実行委員の皆様と学生ボランティア、参加団体の皆様、そして、職員が協力して当日臨機応変に動き、事故を未然に防いでいただいたおかげだと本当に感謝しております。

ただ、当日は想定以上のご来場者が来られた関係で、「ソーラーランタンやボトリアクアリウム作りを楽しみにきたのに参加できなかった」、「様々なイベントが長蛇の列でどこに並べばよいか分かりにくかった」というご意見や、人手が足りずスタッフが休憩にも行けないなど新たな課題、改善すべき課題も多数ございました。来年度は、実行委員会において、これらの課題を解決して、前年度以上の来場者の方が来られることを前提で準備してまいりたいと考えております。

次の4ページの5は、実行委員会の会議開催経過です。例年よりも早く、4月から始まり、例年より数多くの会議を開催して、実行委員の皆様には、お忙しい中、会議にご参加いただいた次第でございます。

第7回の実行委員会は先週木曜日に開催して、ふじみまつりを振り返る会として実施いたしました。この振り返る会では、委員の皆様から、「地元協議会のテントで実施したごみ分別テストで三鷹市と調布市のごみ分別方法が一部異なるので説明に困った」ですとか、「来年度は食べ物ブースも出したい」などの多数のご意見が出されました。今回出された課題につきましては、組合としても改善できるところは改善していくとともに、次期実行委員会で検討課題とすべきところは次期実行委員会に引き継いでいきたいと思っております。

次のページ以降は、当日の催物等の様子を掲載している写真です。後ほどご覧いただければと思います。

最後に、3ページに戻って、4をご覧ください。こちらの実行委員の表にございますとおり、地元協議会から、ふじみまつり実行委員として、これまでご尽力いただいた委員長、副委員長、I委員、J委員の皆様には、あらためて深く感謝を申し上げます。ぜひ来年度は、ここにいらっしゃるほかの地元協議会の委員の皆様にも、ふじみまつり実行委員として、より多くの方にご参加いただければ幸いです。もし、実行委員会の毎回の会議に出るのが難しいようであれば、例えば当日のふじみまつりで幅広く多くの方にご協力いただければ、楽しく安

全にお祭りができて、また、今年度大きな課題となった人手不足等の解消にも大きくつながって、地元協議会と地域住民の皆様、そして行政との交流にもつながると思いますので、ぜひ来年度は1人でも多くの実行委員の皆様にご協力をお願い申し上げます。

私からは以上でございます。

【会長】

事務局の説明は終わりました。

第10回ふじみまつり～三調めのエントツくんまつり～の報告について、ご意見、ご質問などある方は挙手をお願いいたします。

【C 委員】

1つ目は、こういうときの資料のまとめには、必ずそのコストが付くと思うのですが、収支はどうなっているのかということ。

2つ目は、課題についてですが、その課題は何かということを最終のところに書いて、次の委員の方に残していくということが大事だと思います。具体的にはどんな課題があったのでしょうか。この2点です。

【事務局】

収支については、4ページに歳入を書かせていただいております。各団体が販売等を行った売上金は直接、各団体へ入りますので、そちらは記載していません。ふじみ衛生組合に歳入された金額を歳入欄に書いております。支出のほうは、手元に資料がなくこちらに載せておりません。確かにC委員ご指摘のとおり、あったほうがよいと思いますので、次回の地元協議会でそちらの資料を付けるようにいたします。

それから、問題点、課題のほうですが、実行委員会のほうではかなり、何ページかにわたって出しております。ただ、こちらで出しますと同じくらいの時間がかかるので、今回は省略をさせていただいた次第です。次回以降、資料提供だけでよろしければ、要点だけをまとめて出すということは可能でございます。

以上でございます。

【会長】

ほかにご意見はありますか。

【A 委員】

少し、前に戻りますが、44ページ周辺大気の測定についての前年度データとの比較で、ほとんどのところが赤でマイナスということは、要するに減っているということです。とてもよいことですが、どういう要因でマイナスになったのでしょうか。こちらの煙突のことだけではなくて、全体的な環境がよくなってきているということですが、いろんなデータがよくなっているという、その要因を知りたいのですけれども。

【事務局】

周辺大気質が年々きれいになっているというお話をいただきました。まさしくそのとおりでございます。周辺の大気というのは、クリーンプラザふじみの煙突から出る排ガスだけではなくて、いろいろな要因で周辺大気の物質濃度が決まってくるわけです。特に、東京につきましては車のディーゼル規制も全国に先駆けて実施していますので、年々、車の影響が減っているということもございまして、大気質はきれいになっているという状況でございます。

【会長】

A委員、よろしいですか。

【A委員】

はい。

(4)100m煙突登りチャレンジの報告について

【会長】

それでは、次に行きます。(4)100m煙突登りチャレンジの報告についてに移ります。事務局より説明をお願いします。

【事務局】

資料8、45ページ、100m煙突登りにチャレンジの報告についてお願いします。こちらは、前回の地元協議会で開催告知をしましたが、本日は実施報告をさせていただきます。

12月3日(土)、午前10時からと午前11時からの2回、煙突内部にあるらせん階段455段を、申込みされた市民の方と登りました。「広報みたか」と「市報ちようふ」の11月20日号に募集記事を掲載し、各回8人の方、合計16人の方が、リタイヤもなく煙突の頂上まで登られました。当日の様子は写真をご覧ください。

ばと思います。

参加者からは、「下を見ると高くて怖かった。」という感想や「楽しかった。」「また登りたい。」といった感想をいただきました。

また、煙突登りに参加した調布市広報課職員が、調布市が行っているSNSのLINEにおいて、煙突登りをした感想記事が12月19日(月)に配信されました。

次の開催時期は未定ですが、開催する場合は、三鷹市、調布市の広報紙で告知していきます。

説明は以上です。

【会 長】

煙突登りチャレンジの報告でございました。これについてご質問、ご意見がありましたら、挙手をお願いします。

特になければ、次に進みたいと思います。

5 その他

(1) ふじみ衛生組合地元協議会選出区域について

【会 長】

では、その他、次第5の(1)ふじみ衛生組合地元協議会選出区域について、事務局より説明をお願いします。

【事 務 局】

本日、机上配付しました資料10「ふじみ衛生組合地元協議会自治会区域図」をお願いします。併せて、本日使用しましたホチキス留めの資料の3ページ、資料1をお願いします。資料10は、資料1の「ふじみ衛生組合地元協議会委員名簿」に記載の自治会を、地図に落としたものとなっております。

地図上で赤色になっている自治会は、地元協議会にもともと入っている自治会ですが、現在は委員の選出を辞退されているところになります。また、赤い円がありますが、こちらはふじみ衛生組合の敷地から半径500メートルの印となっております。ふじみ衛生組合地元協議会は、この円がかかっている自治会や住民協議会の方が対象となっております。三鷹市西部地区住民協議会には野崎町会も含まれており、また三鷹市東部地区住民協議会には新川宿町会が含まれているので、各住民協議会もふじみ衛生組合地元協議会の対象地域となっております。

この地図は、会長の依頼の下、作成しております。ここからは会長にお話しただきます。

【会長】

ありがとうございます。少し意見交換をできればと思っています。

地元協議会の構成がメンバー的にどうなっているのかというのは資料1の委員名簿でご覧いただける内容となっておりますが、どういう場所からふじみ衛生組合地元協議会に関わっているのだろうかということを少し視覚的に捉えたく、地図に表してもらいました。リストで見るとなかなか分からない距離感が、これで感覚的につかめると思います。

このようになったのは、地元協議会が発足するときのふじみ衛生組合と両市の住民関係の方とのいろいろな話合いの下、現在に至っているのですが、ふじみ衛生組合からおおむね500メートルの範囲に係る自治会等で委員を出すことになっているということです。

両市の市民、40数万人のごみを処理するのがこのふじみ衛生組合で周辺の地域住民に関わるわけですけれども、この施設を造るときにいろいろな経緯があり、大もめにもめて現在のところに落ち着いているというところがございます。

また、この施設が稼働するに当たり、協定書の中には、施設稼働から15年後に施設の今後のあり方についての話合いをするという項目も入っております。

いずれにしても、一般的には迷惑施設と言われますが、生活する上で必要な施設。これを本当にそういうふうに落とし込んでいくために、両市及び両市民の方々の理解と協力がなければ、地元市民としてはなかなか納得感が得られないというのもまた事実だと思います。

今回、リサイクルセンターの建て替え問題もあり、隣りには三鷹中央防災公園もあり、ふじみ衛生組合の周辺は私たちの生活において非常に重要な地域になっているということも踏まえて、今後どのような形で地元協議会が進んでいけばよいのかということを、皆さんそれぞれのお立場で、意見なり、思いを出していただけるとありがたいと思い、提起の意味でこの資料を出させていただきました。

現在の委員は、今年の11月3日までの任期となっております。10月終わりには、また新たな委員が選出されることとなりますので、そういう意味でも、次の委員

選出の件も含めて、何かご意見やご質問を出していただけますか。オンラインの方はいかがですか。

【D 副会長】

委員も高齢化し、なかなか委員を出してくれるところが少なくなっているということで、会長がお考えになり、この資料を出していただいたということでありまして、その辺を皆でよく考えなければいけないことだと思っています。

三鷹市のほうは住民協議会が広くエリアとして持っていますので、かなり広範囲に色が塗られています。欠員があったり、充足していないところがあります。立場は調布と変わらず一緒に考えていくべきだと思っています。

以上です。

【会長】

ありがとうございます。

A委員、お願いします。

【A 委員】

今、高齢化という話もございました。私も長いですから、代わりたいのですが、なかなか代わってくださる方がいない。その原因の1つが、前に何度もお願いしましたけれど、働き盛りの方、サラリーマンが18時半にここへ来るというのは本当に不可能に近いです。いろんな事情もあると思いますので時間のことは諦めるとして、うちは北の台第二自治会ですけれど、ほかの地区でも意見を言いたい方は、多数いらっしゃると思います。例えば、北の台第二自治会からの依頼というような形で、ほかの地区の方を代理参加させるということは不可能なんでしょうか。

【会長】

事務局、お願いします。

【事務局】

皆様のお手元のバインダーに設置要綱が入っております。3ページ、4ページ、5ページが設置要綱になっておりますが、今の設置要綱では、半径おおむね500メートルに係る自治会・町会ということになっております。もし、少し離れた地域の方を要綱を変えずに、そのまま呼ぶとすれば、オブザーバーという形で呼ぶことは可能でございますが、オブザーバーではなく、メンバーに加えるとい

うこととなりますと、要綱そのものを変える、又は別の組織を作るという手続が必要になってまいります。

以上です。

【E 委員】

当初、作ったときから居ますけれど、地域の人たちだけでなく、公募委員というのを設けたのが、我々にとってはそういうことでした。公募委員は2名ずつなのですが、足りないとすれば、もっと増やすということもあり得るように思います。

以上です。

【会長】

今、この地図で表されているように、調布の2つの自治会及び三鷹の1つの自治会で委員選出をされていないところがあります。当初、構成していた自治会から調布のほうで1つ減っているのです、調布のほうは今3つ欠けている形になり、三鷹のほうも1つ欠けているという今のメンバー構成になっています。

10月に委員が交代するとき、また同様なことが課題になってくると思います。これは半径おおむね500メートルということで構成されており、調布と三鷹では自治会等の構成が違いますので、調布のほうで500メートルに係っていないところから参加するというのは、事務局が説明したように、この要綱を変えない限りは難しい。オブザーバーでしたら別ですけど。

ほかの方、何かご意見ございますか。

今回、このように初めて地図の上で表現しましたので、三鷹市と調布市では委員の選出のバックグラウンドが違うということが、感覚的につかめたと思います。10月に委員改選があり、各自治会及び住民協議会等でまた新たな委員を選出してもらおうということになりますので、この課題を皆さんで意識していただきたいと思います。後継者がいないとか高齢化だとかというのは至るところで聞く話ですが、ごみの問題、環境の問題が詰まってしまったら、そんなことは言っていられなくなってしまいます。冒頭にも申し上げましたが、一足飛びにそこまで行けない難しさはありますが、大事なごみの問題、環境の問題につながりますので、少しでもよくなるように、関心を高めて話合いをしていきたいと思っています。

それでは、継続的にこの課題は、改選が迫る中においてはひしひしと高まってくることを期待して、地元協議会委員選出区域のことにつきましては終わりにしたいと思います。

(2) 次回日程について

【会 長】

それでは、次第5の(2)次回日程について、事務局より説明をお願いします。

【事 務 局】

お手元の資料9、47ページ「令和4年度ふじみ衛生組合地元協議会及び安全衛生専門委員会スケジュール」をお開きください。前回の地元協議会からスケジュールを変更しているところを赤字にしています。

次回の第76回地元協議会の開催月は、3月とさせていただいております。本来であれば、本日協議する予定でありました「リサイクルセンター整備実施計画(案)」については、先ほど説明いたしましたとおりの理由で3月に協議をさせていただきたいということでございますので、3月予定でございます。

開催日につきましては、正副会長と相談いたしまして、3月20日(月)又は3月22日(水)のいずれかの日程で調整をさせていただきたいと存じます。新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、開催方法につきましては、正副会長と相談の上、決定をさせていただきます。

私からは以上でございます。

【会 長】

ありがとうございました。

ただいま事務局より次回日程について、3月20日(月)、3月22日(水)のいずれかでということでお話がありました。できるだけ多くの方に参加いただけるようにしたいのですが、この2つの条件の中で決めなければなりませんので、3月20日(月)都合が悪い方は手を挙げてください。それでは、22日(水)は都合が悪い方は挙手をお願いします。

(日程調整)

それでは、次回の開催日程は3月22日(水)ということで決定いたします。委員の皆様は、事務局より後日、開催通知等がありますので確認してください。よ

ろしくお願いします。

最後に、事務局より何かありますか。

【事務局】

特にありません。

6 閉会

【会長】

それでは、以上をもちまして、第75回ふじみ衛生組合地元協議会を閉会といたします。皆様、お疲れさまでした。

第2回「ふじみ衛生リサイクルセンター事業方式及び事業者選定審議会」が3月6日（月）6時半からあります。第1回審議会は、私も欠席してしまいましたが、傍聴人が3人だったということで、今回は万障繰り合わせて行こうと思っておりますので、可能な方はぜひ傍聴いただけるようお願いいたします。

オンラインでご参加の委員の皆様、傍聴の皆様は、退出ボタンを押していただき、順次、ご退出をお願いいたします。ありがとうございました。

— 了 —